

基礎教育科目〔全学共通〕

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. 科目の目指す5つの目標：5つの基礎力と本学のDPで目指す能力等					備考	
							①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現		
							①	②	③	④	⑤		
TIUコア科目	大学生生活デザイン演習	G-SEM101	演習	2	多様な他者との関わりを通じて、コミュニケーション能力を高め、自分の大学生活をデザインする	大学生活について理解し、さまざまな人のなかで自分の意見を伝えたり、主体的に行動ができる	○	○	◎	◎	◎		
	初年次演習	G-SEM101	演習	2+2	大学での学びの基本を理解し、社会や世界を理解するための基礎力を磨き、仲間を作る	学修スキルと主体的学びの修得、進路・キャリアの理解、責任ある社会人の基礎養成ができる	○	◎	○	○	◎		
	ICT基礎	G-INF101	実習	2	パソコンの基本操作と情報セキュリティについて理解する	レポートの作成やプレゼンテーションに役立つ基本ソフトの操作を習得し、情報セキュリティ能力を身につける	◎	○	◎	○	◎		
人間と文化	哲学	G-OHM111	講義	4	世界と自分のあり方について考え、政治や経済のもととなる考え方を知る	人間が世界のなかで存在するというこの基本となる考え方が理解できる	◎	○	○	○	○		
	倫理学	G-OHM121	講義	4	善悪や不正など社会の仕組みと人のあり方について理解する	実際に社会で出会うさまざまな倫理的な問題に対処できるような基本的な考え方を習得する	◎	◎	○	○	○		
	芸術論	G-OHM104	講義	4	社会における芸術について理解し、生活に活かせる芸術の基礎を学ぶ	美術や音楽の体験を通じて、現代社会において芸術がもつ力を理解する	◎	○	◎	○	○		
	文学	G-LIT101	講義	4	文学や映画等を通じて、芸術としての物語のあり方を理解する	文学作品や映像作品を読み解く能力を身につける	◎	◎	○	○	○		
	ことば学入門	G-LNG101	講義	4	人間の思考や文化を形成することばや文字について理解を深める	ことばを客観的に説明することができるようになり、メディアリテラシーの基礎を身につける	◎	◎	○	○	○		
	アジア・アラブ史	G-OHM101	講義	4	アジアとアラブの文化や歴史について理解を深める	アジアの歴史を地域のものとしてではなく世界的な規模のものとして再構築できる	◎	○	○	○	○		
	アメリカ・ヨーロッパ史	G-OHM102	講義	4	アメリカとヨーロッパの文化や歴史について理解を深める	欧米の歴史を流れとして理解し、現代の社会を流れに位置づけることができる	◎	○	○	○	○		
	日本史	G-OHM114	講義	4	日本の歴史について、幕末以降の近代史を中心として理解を深める	日本の歩んできた道を近代の諸国との関係のなかで理解する	◎	○	○	○	○		
	地理学概論	G-OHM110	講義	4	自然地理学と人文地理学の両方の観点から、地域について理解を深める	地域固有の自然環境や文化、経済などを総合的に捉えることができる	◎	○	○	○	○		
	人文地理学	G-OHM108	講義	4	人口や村落、文化や民族、環境などの問題について理解を深める	地域によって異なる生活様式を人口変動や文化等から捉えることができる	◎	○	○	○	○		
	日本の文化	G-OHM117	講義	4	日本文化を支える日本語について理解を深めることで、文化を捉え直す	日本におけるさまざまな文化に対する理解を深めることができる	◎	○	○	○	○		
	異文化概論	G-OHM103	講義	4	異文化理解の基礎を学びながら、自分たちの文化への理解も深める	異文化に対する多角的視野や積極的態度を身につける	◎	○	○	○	○		
	文化人類学	G-OHM118	講義	4	人間の生を可能にする多様な文化的・社会的なしくみを理解する	現代世界の多様な人間現象や異文化に対する視点を身につける	◎	○	○	○	○		
	Introduction to American Society	G-SOC101	講義	4	To study American culture and society by analyzing traditional and contemporary American values	To demonstrate the knowledge learned through active learning in an individual or group presentation	◎	◎	○	○	○		
	Life & Tradition in America	G-SOC102	講義	4	To gain basic knowledge of American lifestyle and traditions	To become familiar with American lifestyles and traditions through cooperative learning (four-skill activities)	◎	◎	○	○	○		
	現代社会	法学	G-LAW103	講義	4	社会で役立てるための法学に関する基礎的な知識を修得し、批判的考察の習慣を身につける	社会で起る様々な法律問題をとりあげ、こうしたトラブルに直面した際の解決方法を考えられる	○	○	◎	○	○	
		憲法	G-LAW101	講義	4	憲法のしくみを理解し、国家／国民とは何かのテーマを追求することで日本国民としての自覚を持つ	具体的な事件・事例に触れて考察することにより、自分たちの国の憲法をより深く理解できる	○	◎	○	○	○	
		政治学	G-POL101	講義	4	様々な異なる政治現象をとりあげながら、その背後に潜む普遍性・一般理念を追求する	個人と社会の間の政治現象の諸形態を理解し、自分がそれに対していかに主体的に参加できるかを認識する	○	◎	○	○	○	
経済学		G-ECN101	講義	4	経済学の基礎となるマイクロ経済学とマクロ経済学について学ぶ	経済行動や経済政策について理解を深め、自分がどのように経済と関係しているかを認識する	○	◎	○	○	○		
社会学		G-SOC106	講義	4	社会学の基本的な歴史と概念を学ぶ	社会学の概念を用いて、自分たちの社会を認識することができる	○	◎	○	○	○		
現代の社会		G-SOC104	講義	4	現代社会を分析するための方法とスキルを学ぶ	さまざまな問題を抱える現代社会において、自分が社会とどのように関連しているのかを認識する	◎	○	○	○	○		
心理学概論		G-PSY103	講義	4	心理学のさまざまな分野における基本的な概念と流れを学ぶ	心理学の基本的用語について正確な知識を得て、日常の体験を心理学の理論に基づいて捉え直すことができる	◎	○	○	○	○		
自然科学と環境	自然科学概論	G-SCI103	講義	4	自然科学の基礎となる物理的な現象について理解する	音や光、エネルギーなどの科学的知識を理解することができる	○	◎	○	○	○		
	環境と自然	G-SCI102	講義	4	現代社会における生活環境上の問題を理解する	薬物や温暖化など環境の問題がいかに自分たちの生活と関わっているのかが理解できる	◎	○	○	○	○		
	科学思想史	G-SCI101	講義	4	社会の発展を支えてきた科学技術とその背景となる科学思想について理解する	科学の発展を歴史的流れの中から捉え直すことができる	○	◎	○	○	○		
	統計学入門	G-SCI106	講義	4	統計学における基礎的なスキルを習得することができる	データの見方やまとめ方を学び、基礎的な統計処理ができる	○	◎	○	○	○		
健康とスポーツ	情報処理の基礎	G-INF102	講義	4	コンピュータのハードウェアやソフトウェアの基本的な理論を理解する	コンピュータが動作する基本的な原理を理解し、情報処理の可能性について認識する	◎	○	○	○	○		
	健康・スポーツ科学	G-HES101	講義	4	健康科学やスポーツ科学の基本的な理論を理解する	健康やスポーツに関する正しい理解を身につけ、日常生活で実践することができる	◎	○	◎	○	○		
	健康・スポーツ実技	G-SPE101	実習	1	スポーツの競技を実践し、その基礎となる理論を理解する	各競技の基本的な理論を理解し、他者との試合などを正しく実践することができる	○	○	◎	◎	◎		



その他の 外国語	スペイン語入門	L-SPN101	実習	2	スペイン語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	スペイン語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	実践スペイン語	L-SPN102	実習	2	基礎的なスペイン語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なスペイン語を話し、読み、書くことができる			○	○	◎	
	中国語入門	L-CHN101	実習	2	中国語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	中国語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	実践中国語	L-CHN102	実習	2	基礎的な中国語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的な中国語を話し、読み、書くことができる			○	○	◎	
	ハングル入門	L-KRE101	実習	2	ハングルの文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	ハングルの基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	実践ハングル	L-KRE102	実習	2	基礎的なハングルのコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なハングルの話し、読み、書くことができる			○	○	◎	
	ロシア語入門	L-RSA101	実習	2	ロシア語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	ロシア語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	アラビア語入門	L-ARB101	実習	2	アラビア語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	アラビア語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	

※ 言語科目は学部（一部学科）により科目が指定されているため備考欄に注記をいれてあります。  
 (注1) グローバル・コースに登録した学生のみ履修することができる

# 基礎教育科目〔全学共通〕

～つづき～

授業科目区分	授業科目名	ナパリンク	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. 科目の目指す5つの目標:5つの基礎力と大学のDPで目指す能力等				
							①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現
言語スキル科目 留学生日本語	アカデミック日本語I	L-JPN121	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	幅広い知識・教養、基礎的学修力・理解力	思考力・判断力、課題の発見・分析・解決力	汎用的能力向上、社会への関心、意欲の向上	自主性・積極性・やりぬく力、自己規律の修得	社会人能力：コミュニケーション、チームワーク等
	アカデミック日本語II	L-JPN202	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	教科書に加え、新書や新聞などの論説文・報告文なども使用し、各自の専門学習の基礎となる語彙表現を習得および専門分野の文章作成を目指す。	◎	○	○	◎	○
	日本語ワークショップI	L-JPN122	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	グループワークの中で、大学生として必要な総合的な日本語の理解力(読解力・聴解力)および表現力(発表力・作文力)の向上を目指す。	○	◎	○	◎	◎
	日本語ワークショップII	L-JPN203	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	「ワークショップ」形式で、ピア学習を重視し、日本語の4技能(話す・聞く・書く・読む)およびコミュニケーション力を磨くことで主体的学習力・協同作業力・思考力などの増強を目指す。	○	◎	○	◎	◎
	ビジネス日本語	L-JPN301	実習	2	日本での就職に必要な日本語力を総合的に修得する。講義形式授業を行った後、学生はペアやグループで実践練習を行い、発表をする。	日本での就職に必要な日本語力および入社以降のビジネスシーンで約にたつような実践的日本語の日本での就職に必要な総合的な日本語コミュニケーション力を目指す。	○	○	○	◎	◎
キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	C-ISP101	実習	2	インターンシップ実習で企業や行政機関・NPOなどにおいて、自らのキャリアに関連した就業体験を行うための事前学修を実施する。	社会人マナー、コミュニケーション・プレゼンテーション能力向上、エントリーシート作成、ビジネス文書の作成などができるようになる。		○	◎		◎
	インターンシップ(体験型) (注2)	C-ISP201	実習	1	比較的短期のインターンシップに参加し、企業体験を通じて就職活動への理解を深め、その体験を学業に生かす。	企業で働くとはどういうことか、その企業はどんなところか、業界や業種の仕事はどんなものかなど、具体的に職業を知ることができる。			◎		◎
	インターンシップ(実践学修型) (注3)	C-ISP202*4, 207	実習	3	実践的な就業体験(例えばプロジェクト型の業務)を通じ、社員と業務を行うことで、社会人としての様々な能力養成を目指す。	自己の職業適性や将来設計を考え、主体的な職業選択や高い職業意識を育成し、暗黙知から学修する能力を身に付ける。			◎		◎
	ボランティア活動	C-VLT102	実習	1	ボランティア・社会的活動を通じ、コミュニケーション能力向上、社会の在り方の理解の深化等により、自らの学びを高めていく。	社会の仕組みや社会の課題を理解・分析し、課題解決力高め、コミュニケーション・チームワーク・リーダーシップ等のスキルを実践的に修得する。		○	◎		◎
	アカデミック・ライティング	C-LNG101	実習	2	学術的・専門的な内容の英語文章を組み立て、適切な英語表現を用いて、外国人が適切に理解できる英語を記述するための学習を行う。	英語及び日本語の文法・資料・データ等を参照し活用し、適切な英語を用いた専門的文章を組み立て、適切な英語表現で英文を書くことができる。		◎	○		◎
	キャリア・Re-スタート	C-SEM201	実習	2	「他者との関わりを通してコミュニケーション力を高め、東京国際大学での大学生活をどう過ごすかを考える。自分の行動計画を立て、やるべきことを明確にする。	①積極的に自分の意見を伝えられる、②集団での自分の役割を理解し行動できる、③大学でできることを知る、④大学生活の行動計画を立てられる。				◎	◎
	地域の安全と警察	C-ORE215	講義	2	犯罪や事故などの危険から個人や社会を守るための行政政策について、警察行政を中心としながら、安全な公共空間設計行政などを学ぶ。	警察の現状と職務を理解し、社会の安全と安心を守る行政の役割を理解する。また、就職活動に必要な知識の習得、目的意識を明確化できる。	○	○	◎		
観光まちおこしワークショップ	観光まちおこしワークショップ入門	G-PBL104	PBL	2	地域活性化に必要な「観光を活用したまちおこしの基本」をフィールドワークやグループワークを通じて学修する。	1. 観光まちおこしの基本を理解、2. 川越の地域特性、歴史、観光資源を理解、3. 川越の課題を発見、4. 成果発表でチームワーク力を身につける。	○	○		◎	◎
	観光まちおこしワークショップ実践A	G-PBL101	PBL	2	大学・地域が一体となり、「まちおこし」を実施する上で重要となる知識・スキルをプロジェクト形式で学修する。	1. 地域の課題を把握し、2. まちおこしや地域活性化の方策を考え、3. アイデアを形にする力を養い、4. ホスピタリティマインドをもつ。		○	○	◎	◎
	観光まちおこしワークショップ実践B	G-PBL102	PBL	2	川越の魅力を見直し、外国人観光客へPRすることを体験するプロジェクト型授業で、情報発信の方法を学ぶ。	1. 川越の魅力・地元産品の特徴を効果的に発信、2. 外国人観光客のニーズを満たすリーフレット等をチームで作成できる、3. 外国人の視点をもとに制作物を完成させる。		○	○	◎	◎
	観光まちおこしワークショップ実践C	G-PBL103	PBL	2	「小江戸かわごえまちおこし」の企画立案を行い、課題解決思考能力及びコミュニケーション・ファシリテーションスキルをもつグローバル人材の育成を目指す。	1. 「小江戸まちおこし」の立案・提案能力、2. 地域の課題抽出と課題解決の思考能力、3. コミュニケーションやチームビルディングのスキルを習得。		○	○	◎	◎
	観光まちおこしプロジェクトA	G-PBL201	PBL	1	「大学生観光まちづくりコンテスト」に参加し、実践的な課題発見力、チームワーク力、プレゼンテーション力を修得する。	次の3能力を養う。(1)全国観光地の課題を発見、(2)課題解決のアイデアを協働学修で具体化、(3)それを提案書にまとめプレゼンを行う。				◎	◎
	観光まちおこしプロジェクトB	G-PBL202	PBL	1	実際の企業や組織・団体と連携し、川越市の観光課題を発見する力を養い、体験プロジェクトを通じて社会人の経験を積む。	次の3能力を養う。(1)川越市の地域活性化策を企業・組織・団体と作成、(2)川越市の魅力発信PR動画作成、(3)観光客向けガイドブック作成等企業と連携実施する。		○	◎	◎	◎

## 自由選択科目

## プロジェクト科目

観光まちおこしプロジェクトC	G-PBL203	PBL	1	観光をテーマに企業や自治体と連携し、実践的なまちづくり、地域づくりをプロジェクト形式で行う。	次の3能力を養う。(1)観光による地域づくりを実践する。(2)自分の意見を述べ議論する。(3)社会人基礎力を修得する。		○	◎	◎	◎	
留学プランニング (ASP Prep)	G-0AR105	実習	1	姉妹校 Willamette University の実施するASP参加希望者に、留学からの学修効果を高めるための準備を行う。	留学での学習・課外活動に取り組むとき的心情、学修方法、コミュニケーション・チームワークスキル等を修得できる。			◎	○	◎	
海外ゼミナールA	G-0AR201	PBL	4	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、現地のフィールドトリップや地元住民との交流により、その国の文化、歴史、国民性などを深く知る。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会・政治等の価値事情に関する生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解を深める。	○		◎	○	◎	
海外ゼミナールB	G-0AR202	実習	2	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、教室外での活動を通じ、その国の文化、歴史、国民性などに触れる。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会等の生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解に繋げる。	○		◎	○	◎	
特別授業A	G-0AR205	講義	2	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Aは、15回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を磨き、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	○		◎	○		
特別授業B	G-0AR206	講義	4	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Bは、30回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を磨き、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	◎		◎	○	○	
特別実習 I A	G-0AR103	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。		○		◎	○	
特別実習 I B	G-0AR104	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。		○		◎	◎	○
特別実習 II A	G-0AR203	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。		○		◎	◎	○
特別実習 II B	G-0AR204	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。		○		◎	◎	○
特別実習 III A	G-0AR301	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			◎		◎	◎
特別実習 III B	G-0AR302	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			◎		◎	◎
特別実習 IV A	G-0AR401	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			◎		◎	◎
特別実習 IV B	G-0AR402	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			◎		◎	◎
基礎科目特殊講義A	G-0AR101		2	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。15回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設することに案内する。						
基礎科目特殊講義B	G-0AR102		4	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。30回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設することに案内する。						

(注2) 「インターンシップ (体験型)」は、実習時間数に応じて、1 ~ 2 単位を修得できる。

(注3) 「インターンシップ (実践学修型)」は、実習時間数に応じて、3 単位以上を修得できる。

経済学部の主要科目・分野の学修成果表  
(TLO: Targets and Learning Outcomes)

8つの目標：5つの基礎力と3つの能力 (経済学部DPで目指す)

授業科目名	科目コード /ナンバ	科目区分・専門 分野	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとすか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	TIU全学DPに基づく基礎力					経済学部DPに基づく能力			
						①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	現代経済専攻		⑧戦略立案力	
											⑥総合性	⑦専門性		ビジネスエコノミクス専攻
初年次演習	G-SEM101	TIUコア科目	4	大学での学びの基本を理解し、社会や世界を理解するための基礎力を磨き、仲間を作る。	学修スキルと主体的学びの修得、進路・キャリアの理解、責任ある社会人の基礎養成ができる。		○	◎		○				
経済学	G-ECN101	教養コア科目	4	経済学を初めて学ぶ人が、初級レベルの標準的な経済学を理解し、経済学的な考え方・思考方法に慣れること。	最適化行動を通じて資源の最適配分が実現するメカニズム、経済活動の水準を決めるメカニズムを理解できる。	○	○	◎			◎			
統計学入門	G-SCI106	教養コア科目	4	統計学の基礎を分かりやすく学ぶ。統計的なデータは確率的な変動を伴っていること、そしてその変動をどのように捉えるのかについて理解を深める。	日常の統計データの適切な理解、統計データが確率的な変動をもつことによるデータ特性を読み取る力、統計データを仕事や暮らしに活用できる能力を身につける。	○	○				◎			
数学入門	M-SCI103	基礎	4	くらしや仕事に役立つ数学の基本を確実に習得し、数値の適切な読み方、利用の仕方に習熟し、「数字に強くなる」ことを目指す。	高校までに学んだ数学の復習を行い、数式の必要性や意味が理解できる。このような「数的処理」の学習を経てSPIの問題を効率良く解くことができる。	○	◎				◎	○		
社会史A	M-OHM101	歴史	4	現代日本の都市社会の担い手について学び、日本の都市社会の形成過程を知る。また、近世都市社会の基本構造を学び、現代日本の都市社会を相対化して認識するための視座を獲得する。	現代社会が抱える諸問題を発見し、それら問題が発生する因果関係を分析し、問題解決の処方箋・方法を打ち出すための基礎的な能力を養う。	◎	○	◎	○		○			
社会史B	M-OHM102	歴史	4	近世を中心に西ヨーロッパ社会、そして意外に知られていない東ヨーロッパに目を向け、総体としてのヨーロッパ世界を構成するさまざまな要素に触れる。	ヨーロッパの近世社会の構造を探ることにより、表層の歴史的事象を生活面にまで掘り下げて理解し、異い歴史によって培われてきたヨーロッパの深層を成す心性に触れることができる。	◎	○	◎	○		○			
簿記	M-ACC101	基礎	4	簿記を初めて学ぶ人を対象に、簿記および会計学の基礎的な内容を理解し、学生自らの取り組みで検定試験に合格できるようにする。	(1)簿記・会計学の学習や会計実務で多用される基礎的な用語・計算の理解、(2)日商簿記3級レベルの学習内容の理解、(3)簿記・会計学に関連する発展科目の基本が理解できる。	○	◎				○			
基礎演習	M-SEM201	共通	4	経済学や関連する分野の学修を通じて、経済・社会現象を的確に捉える。主体的・自律的な学修により、課題の発見・分析・問題解決の方法を学ぶ。	プレゼンテーションとディスカッションができるようになること、合わせて論理的思考方法に習熟することをめざす。	◎	◎	○	○		○			
経済史A	M-ECN203	歴史	4	日本経済のあり方を、長期的な観点に立って理解する。特に資本主義の形成と変質の過程を把握することに中心を置く。	日本経済の長期的な発展過程の特徴を理解でき、日本と諸外国の差異や同質性を理解できる。	◎	○	○			◎	○		
経済史B	M-ECN204	歴史	4	ヨーロッパにおける経済社会の形成過程を、長期的な観点に立って理解する。特に資本主義の形成と変質の過程を把握することに中心を置く。	ヨーロッパ経済社会の普遍性と特殊性を識別することができる。これを指針に日本の経済社会に対する客観的洞察を引き出すことができるようになる。	◎	○	○			◎	○		
経済学の歴史	M-ECN202	歴史	4	経済学の歴史を理論的および歴史的な方法で理解し、19世紀以降のヨーロッパの歴史に経済学がどのように関わり、また作用してきたかを探る。	経済現象を、人びとがどのような仕方で理論的に捉えてきたか、また近現代の経済学が19世紀以降のヨーロッパ史および経済史とどう関連していたか理解できる。	○		○			◎			
ミクロ経済学	M-ECN217	理論	4	最適化行動と効率的な資源配分について、以下の内容を学ぶ。(1)消費者行動理論、(2)生産者行動理論、(3)市場メカニズムの動きと効率性、(4)独占の特徴、(5)寡占とゲーム理論。	(1)需要曲線の導出、(2)供給曲線の導出、(3)市場の動きと効率性の関係の理、(4)独占とは何かについての理解、(5)ゲーム理論を応用した寡占等の分析、ができる。	○	○				◎	○	◎	
マクロ経済学	M-ECN216	理論	4	生産物市場、貨幣市場、労働市場の相互作用により生産、雇用、物価が決まる仕組みを単純なマクロモデルを通して理解する。	マクロ経済学を現実の様々な経済問題に適用して考察することができる。経済学に対する理解を深めることができる。	○	○				◎	◎	○	
ゲーム理論 I	M-ECN207	理論/戦略/スポ	4	ゲーム理論の基本的な2つの道具、(1)利得行列、(2)ゲームの木、を使いこなせるようになる。	ゲーム理論を用いて、与えられた問題を解けるようになる。現実の問題をゲーム理論の分析道具によって表現できる。	○	○				◎	○	◎	
行動経済学 I	M-ECN209	理論/戦略/スポ	4	人間の判断と意思決定について、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間判断・リアルな意思決定」を分析する手法を学ぶ。	「非合理的な人間」の心理学・脳科学的アプローチを用いて「リアルな人間の意思決定」を理解し、自分自身の意思決定メカニズムを深く理解できる。	○	○				○	◎	◎	
ビジネスエコノミクス I	M-ECN214	フア/戦略	4	企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等を理解する。	企業の事例研究を各自で行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について各自の意見を発信できる。	○	○				○	○	◎	
計量経済学	M-ECN206	理論	4	経済学の実証分析に用いられる計量経済学的方法論を学ぶ。同時に経済理論についての理解を深めるとともに、その検証方法をも身に付ける。	経済データを自ら収集、整理したうえで、回帰分析を中心とする実証分析ができる。	○	○				○	◎	◎	
経済数学	M-ECN205	理論	4	高校までの数学を基礎に、初歩的な経済学で用いる数量分析の基礎を学ぶ。同時に経済理論の理解も深め、定量分析の意味を把握する。	関係図や相互依存関係を線形代数や微分を用いて定式化する方法を体得し、経済学の入門書を支障なく読み進めることができる。	○	◎		◎		○			
国際経済学	M-ECN210	理論/国際	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要な記事を読みこなすことができるようになるための学修を行う。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容について理解し、さまざまな国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察することができる。	◎	◎	○				○		





行政法	M-LAW302	法	2	行政法の基礎を理解し、身近で重要な法律の一つである「行政法」に関する具体的なケースを取り上げて学ぶ。	行政法が私たちの実際の生活とどのように関係し、人々の生活や行動と結びついているのかを理解できる。	○	◎				○	○	◎	
スポーツビジネスマネジメント	M-HES331	スポ	4	スポーツビジネスの特質を学び、何がスポーツビジネスの特徴かを学修する。さらに、スポーツビジネスマネジメントとそれに関する企画案作りについて学修する。	(1)スポーツビジネスの特異性を理解できる。(2)スポーツサービス、地域スポーツにおけるビジネスとしての特徴を理解できる。(3)スポーツビジネスマネジメントに関する企画が立てられるようになる						○	○	◎	
スポーツ政策	M-HES326	スポ	2	わが国のスポーツ政策について、行政組織・政策財源等を視野に入れて、現状と課題、さらには解決方法等について学ぶ。	(1)わが国のスポーツ政策の変遷を理解し、スポーツ行政組織や財源を把握し、スポーツ環境の現状と課題を理解できる。(2)わが国のスポーツ政策について、自分の考えを述べることができる。	◎	○	○				◎	○	
スポーツ経済学	M-ECN339	スポ	4	経済学的な考え方が健康・スポーツに関してどのような視点を与えるのかを考察する。スポーツをめぐるお金の流れ、スポーツイベントの経済効果などに加え、より根源的かつ重要な問題(人はなぜスポーツをするのか、八百長や賭博が起きるのはなぜかなど)も学ぶ。	アスリートやスポーツに関わる仕事をを目指す学生はもともと、競技にスポーツをする・観るの好きな学生が、経済学を通して健康とスポーツについてより深く理解できる。	○	○	◎				○	◎	
マーケティング論	M-CME315	戦略/地域	4	マーケティングの基礎的な知識を習得することにより、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対して洞察力を養う。	新聞記事や雑誌の特集で取り上げられるマーケティングに関する文章を読んで、ある程度の理解ができるようになる。	○	◎	○					○	◎
経営戦略論	M-MNG307	戦略	4	経営目標の実現のために、政策手段の採用、経営方針・実施計画等について「経営戦略」の視点から学ぶ。	企業を取り巻く環境の変化を理解し、経営戦略の基本理論や戦略策定ツール(フレームワーク)を活用できるようにする。			○	○				◎	◎
立地論	M-ECN337	地域	4	農業・鉱業、製造業、サービス業が、経済活動の場としてどのように立地を選択するか、経済地理学も応用し学修する。地理的な空間に加え、活動の「場」・空間・位置関係等も分析対象とする。	産業別立地について学んだ成果を報告し、また各自の関心に基づいて、産業集積・空間経済、都市システムなどの現実的なテーマについて、ディスカッションをし、意見を集約することができる。								○	◎
現代中国ビジネス事情Ⅰ	M-CME303	国際	2	中国進出に当たっての一般的留意事項、事前調査、トラブル防止などの実務を学び、実践的人材育成を目指す。	仕事に取り組み心構え、実務の大切さ、経営理念や哲学の考え方の大切さを学びながら、周囲に信頼され、社会人として存在感のある「志」を持った人材としての力を養う。	○	○	○				◎	◎	
現代中国ビジネス事情Ⅱ	M-CME304	国際	2	授業を通じて中国ビジネスにシなやかにかつタフに対応できる、実務に明るい実践的人材を目指す。	仕事に取り組み心構え、ものの考え方、会社の経営理念の大切さを学び、周囲から信頼され社会人として存在感のある、志を持った人材としての力を養う。	○	○	○				◎	◎	
ビジネス会計	M-ACC310	ファ	2	会計学の基本である簿記を学び、複式簿記の計算構造を理解し、会計学の学修へと展開することを旨とする。	簿記の基本原則を理解し、経済学部に学ぶ者が最低限必要とされる簿記知識を修得し、簿記検定の基礎レベルに合格できるようにする。	○	◎						◎	○
実践ファイナンス講座	M-OAR313	ファ	2	現場の実務を踏まえた地域金融機関の業務と機能・役割について具体的な学修を行い、ファイナンスの役割を理解する。	受講者が社会人となって直面するであろう「おカネ」に関する諸問題に対応できるようにするための最低限の金融知識を身につける。	○	◎						◎	○
卒業研究	M-SEM401	共通	4	4年間の学習成果を論文のかたちで集大成する。教員のテーマは専門演習において教員の指導のもと各自選定する。	4年間知識として学習した成果を活用し、みずから設定した課題の解に独自に取り組むことができるようになる。	○	○	○	○	○		◎	◎	◎
金融工学	M-ECN401	ファ	2	ビジネスを行っていくうえで必須といえる、リスクに対する考え方を習得する。	(1)ファイナンスの基礎的な知識を利用して意思決定のための考え方を展開し、(2)意思決定を行う際のリスクを小さくする方法を理解し、(3)学んだ知識を実際の意思決定に際して役立てることができる。				◎	○			◎	
行動ファイナンス	M-ECN402	ファ	2	伝統的な経済学と最先端の経済学の成果をもとに金融市場におけるさまざまな現象(アノマリー)を理解する。	プロスペクト理論やヒューリスティック・バイアスなどの行動ファイナンスの中核理論を理解し、現実の金融市場における具体例を見つめることで、ファイナンスの現場で実践できるようにする。		◎	○					◎	○
ファイナンス特別演習Ⅰ	M-ECN331	ファ	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身につける。				○				○	◎
ファイナンス特別演習Ⅱ	M-ECN332	ファ	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を理解し、わが国の金融サービス、金融政策などを学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身につける。				○				○	◎
ファイナンス特別演習Ⅲ	M-ECN403	ファ	2	わが国の金融機関の業務・金融政策などに関する研究を通じて、金融機関のビジネスモデルなどの理解を深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身につける。				○				○	◎
ファイナンス特別演習Ⅳ	M-ECN404	ファ	2	わが国の金融問題を自ら発見し、課題を整理・分析し、金融政策に関する理解を更に深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で詳しく説明する力、また就職活動および実社会において必要とされる高度なプレゼンテーション力を身につける。				○				○	◎

参考) 経済学部ディプロマポリシー

経済学部では、所定の単位を修得し、下記のいずれかの能力を修得した者に学士の称号を与える。

- 幅広い分野にわたる知識に裏付けられたコミュニケーション能力を活かし、経済社会のさまざまな現場においてジェネラリストとして活躍の場を見いだすことができる。
- 専門分野の学修により得た学識を実践の場において活用し、現実の諸問題をスペシャリストとして解決することができる。
- 経済学およびその周辺領域の学修により得た識見とスキルに基づき、最適な戦略を立案することができる。